

様式2 (計画用)

「越前市総合計画 2023 (案)」に関するパブリック・コメント結果

案件名	越前市総合計画 2023 (案) について								
実施期間	令和4年12月21日(水)～令和5年1月12日(木)まで								
趣旨	<p>越前市総合計画は、越前市が目指す将来像の実現に向けて、総合的かつ計画的なふるさとづくりを推進するための市政運営の指針です。</p> <p>本市は、平成19年に策定した「越前市総合計画」以降、現在まで、将来像である「元気な自立都市 越前」の実現を目指したふるさとづくりに取り組んできました。</p> <p>しかし、近年、国内全体の人口減少と少子高齢化の進展、地球温暖化の進行と自然災害の激甚化・頻発化、新型コロナウイルス感染症の感染拡大をはじめとした新たな社会的脅威の出現、北陸新幹線の県内開業などの高速交通網の整備など、本市を取り巻く社会潮流は大きく変化しています。</p> <p>このような状況を踏まえ、これまで進めてきたふるさとづくりを継承しつつ、さらなる進化と深化のために、様々な社会経済情勢の変化や時代の潮流、直面する課題などに的確に対応した新たなふるさとづくりのビジョンとして、「越前市総合計画 2023」を策定します。</p>								
意見提出者数 (件数)	19人(110件)								
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未記入	合計
	2	14	12	24	14	12	1	31	110
意見に対する回答	以下のとおり								

No	年齢	該当する箇所	ご意見の要旨(原文)	越前市の回答
1	50代	はじめに 第2章 策定の考え方	エグゼクティブサマリー(全体の要約)を作成されてはどうか。エグゼクティブサマリーにより要点や計画策定の思考過程を把握したうえで総合計画本体を読むことで市政に対する市民の理解が一層深まると思う。	はじめに、第2章策定の考え方において、市民の皆さんの理解を促すために、計画(案)作成の経緯を追記します。 また、記載内容をイメージできるように、イラストや図式を追加していきます。 さらに、今後市民向けの概要版を作成し、市民の理解を促進していきます。

様式2 (計画用)

2	70代	全体	カタカナ表記や略字について、専門的な言葉は説明をつけるべきでは。	できるだけわかりやすい日本語で記載し、また聞きなれない言葉には説明を並記します。
3	50代	はじめに 第2章 策定の考え方 基本構想 第1章 2040年の越前市の将来像	はじめに、第2章策定の考え方に「越前市の課題解決のための政策を積み上げた「課題解決型」の総合計画」とあり、ボトムアップ的な印象を受ける一方で、基本構想、第1章2040年の越前市の将来像には、ふるさとづくりの理念→3つのめざす姿→6つのテーマが示され、トップダウンの印象を受ける。この両者を整合させるに至る思考過程を明示してはいかがか。	はじめに、第2章策定の考え方において、「そのため、市民の皆さんが抱える課題をお聞きし、世界の潮流や国内の動向、本市の現状を分析しました。他方で、市長の政治姿勢に基づく2040年(令和22年)に向けて進むべき方向性を確認しながら、庁内での討議を重ね、政策を積み上げ、さらに関係団体からの意見により政策を補強し、市総合計画として取りまとめました。」に修正します。
4	50代	はじめに 第3章 本市が抱える課題の集約と分析	越前市の個々の課題を類型化したものが第3章に記載されているが、課題解決に向けた手段(How)は示されているものの、あるべき姿/ありたい姿(Why)がイメージできない/イメージしづらい。あるべき姿/ありたい姿を具体的に示してはいかがか。	基本構想、第1章2040年越前市の将来像、(2)めざす姿において、2040年に向けてのあるべき姿、ありたい姿として、①10万人の元気と活力、②100年人生の幸福実現、③1000年未来につなぐふるさとづくり、の3つのめざす姿を掲げ、取り組む内容を記載しております。
5		はじめに 第3章 本市が抱える課題の集約と分析	文中「4月下旬から…」とあるが、「2022年4月下旬から…」としてはどうか。	「2022年(令和4年)4月下旬から」に修正します。
6		はじめに 第3章 本市が抱える課題の集約と分析 (2) まちの構造	①の文中「旧武生市の川西」とあるが、「旧武生市の日野川を挟んだ川西」としてはどうか。また、同文中に「中心市街地の玄関口を創出」とあるが、武生中央公園から中心市街地が始まると考えているのか。一般には、武生駅を中心とした旧市街地を玄関	「旧武生市の日野川をはさんだ川西」に修正します。また、「中心市街地のにぎわいを創出」に修正します。

様式2 (計画用)

			口と認識する人も多いのではないか。	
7		はじめに 第3章 本市が抱える課題の集約と分析 (2) まちの構造	図について、「旧広域農道」が水色で、国道365号が紫色に塗られている。すでに広域農道の一部は365号なので、「旧」にこだわる理由は何かあるのか。	国道365号について、現在の指定に基づき色を塗ります。
8		はじめに 第3章 本市が抱える課題の集約と分析 (2) まちの構造	④の文中に「消雪施設の設備を進めています。」とあるが、「整備を進めています。」ではないか。	「整備が必要です」に修正します。
9		はじめに 第3章 本市が抱える課題の集約と分析 (5) 行財政の構造	文中「人口が2万1千人(約25%)減少することが見込まれています。」とあるが、「およそ2万1千人」とすれば、「約25%」と符合するように感じられるが、いかがか。	最新の数字にて「2022年(令和4年)推計人口に比べおよそ1万9千人(約24%)減少することが推計されています。」に修正します。
10	40代	はじめに 第3章 本市が抱える課題の集約と分析 (5) 行財政の構造	少子化のなかで様々な対策をしている中で、日頃よりどうしてこんなに新しい道やトンネルができるのかと思う。 利用する人口がどんどん減っていく中、日本全国で同じように新しい道や施設が増え続けている。既存の施設や道路の活用について地域も交えて将来のお金のことも加味しながら話し合う必要はないか。 今後、財源不足により税金が上がるようでは将来を担う子供たちに申し訳なく思う。今一度既存のものに目を向ける政策も市民とともに作り上げてほしい。	ご指摘のとおり、道路や橋梁などの都市インフラは老朽化により維持管理費の増大が見込まれています。また、人口減少や少子高齢化により社会保障制度の維持も厳しくなってきました。 この計画では、中長期的な視点に立って、課題解決のための政策を積み上げています。引き続き、市民の皆さんの幸福実感の現状を分析し、政策や事業にフィードバックさせることによって、課題解決を図ります。

様式2 (計画用)

11	60代	<p>基本構想 第1章 2040年の越前市の将来像 (2) めざす姿</p>	<p>現在の社会情勢は、ウクライナの戦争、北朝鮮のミサイル発射など紛争に向かっているようで心配である。また、2050年までにフードショックが起きると言われている。社会情勢などを記載しておく、時代背景が分かってよいのではないか。</p>	<p>世界での社会情勢の変化については、(2) めざす姿③1000年未来につなぐふるさとづくりにおいて、市民が抱える不安として記載しています。</p>
12	50代	<p>基本構想 第1章 2040年の越前市の将来像</p>	<p>今回の市総合計画は、これまでの基本理念等を次のとおり改めるという理解でよいか。 基本理念「自立と協働」 →ふるさとづくりの理念「幸せを実感できる ふるさと」 重点目標「定住化の促進」 →掲げない 将来像「元気な自立都市 越前」 →3つのめざす姿「10万人の元気と活力」、 「100年人生の幸福実現」、 「1000年未来につなぐふるさとづくり」</p>	<p>ご説明のとおりです。</p>
13		<p>基本構想 第1章 2040年の越前市の将来像 (1) ふるさとづくりの理念</p>	<p>文中1行目に「多くの歴史と文化があります。」とあるが、「長い歴史と多くの文化」ではないか。また、3行目に「誇るべき文化」とあるが、「誇るべき自然と文化」ではないか。 12行目から15行目に「わたしたちは、…」とあるが、内容が詰まりすぎているので、整理した方がより伝わりやすいと思う。</p>	<p>「長い歴史と、これにはぐくまれた様々な文化」に修正します。 また、「誇るべき自然と文化」に修正します。 12～15行目の記載については、文章を切り、整理します。</p>
14	50代	<p>基本構想 第1章 2040年の越前市の将来像 (2) めざす姿</p>	<p>(2) めざす姿では、取組みが中に記載されている。めざす姿が実された際の市や市民の様子を明示てはいかがか。</p>	<p>(2) めざす姿では、2040年の本市の将来像として、活力、健康、安全安心の3つの観点から、主たる方針を掲げています。これらの取組みにより、</p>

様式2 (計画用)

				市民の皆さんは、幸せを実感するとともに、ふるさと越前市への愛着と誇りを持ってもらえるものと考えています。
15	50代	基本構想 第1章 2040年の越前市の将来像 (2) めざす姿	3つのめざす姿は、数字(10, 100, 1000)が使われているが今後20年間のことを定めているのに、100年人生、1000年未来の記があると混同する方がでてくるのではないかと。また、1つ目の「10万人の元気と力」については、数値目標と捉えられないので、基本構想よりも本計画に定めてはどうか。	市民の皆さんがこの市総合計画に興味を持ってもらえるよう特長を持たせるため、10の倍数を使って「めざす姿」を表現しました。 また、基本計画は令和5年度からの5年間での取組みとなるので、2040年に向けた基本構想に記載します。
16		基本構想 第2章 2040年に向けて取り組むテーマ 1 地域の宝をブランドに	文中「関係人口との関係を深め、維持、継続していきます。」とあるが、プロジェクト2 UIJターン倍増プロジェクトでは、「関係人口の増大」とある。「維持、向上」としてはどうか。	「関係人口を維持、拡大していきます」に修正します。
17		基本構想 第2章 2040年に向けて取り組むテーマ 2 活力あふれる地域産業	文中「6次化商品を開発する」とあるが、市が実施するのか。それとも開発する人を支援するのか。文中「農村が持つ国土保全、…今後とも維持していく必要があります」とあるが、「維持していきます」と記載すべきではないか。文中「環境への負担の少ない」とあるが、「負担が」ではないか。	「6次化商品を開発」を「6次化商品の開発を支援」に修正します。 また、「今後とも維持していきます」に修正します。 また、「環境への負担が少ない」に修正します。
18		基本構想 第2章 2040年に向けて取り組むテーマ 3 すこやかで幸せな暮らし 5 安全で安心して住み続けられる	エアロバイクと蓄電池をセットにし、各家庭へ設え補助を提案する。これにより市民の「健康長寿」及びブラックアウト時の「防災・減災」対策に繋がると考える。	各家庭で蓄電池を備えておくことは災害時の停電対策のほか、環境面でも有効であると考えます。 このご提案については、ご意見として承ります。

様式2 (計画用)

		まち		
19		基本構想 第2章 2040年に向けて取り組むテーマ 3 すこやかで幸せな暮らし	「ニートと呼ばれる若者無業者が…高める支援が必要です。」とあるが、「支援をします。」と記載すべきではないか。	「ひきこもりやニートと呼ばれる」を追記し、「支援を行います」に修正します。
20		基本構想 第2章 2040年に向けて取り組むテーマ 5 安全で安心して住み続けられるまち	文中「都市の健全な…形成を進めます」とあるが、「形成を図ります」か「形成に取り組みます」としてはどうか。 また、文中「まちなかでの居住空間の…にぎわいづくりを推進します。」とあるが、例えば「交流人口を増やし」や「イベントによる」とか手段の説明を記載してはどうか。	「形成を図ります」に修正します。 また、「にぎわいづくりを推進します」の前に、「商業やイベント支援により」を追記します。
21	50代	基本構想 第2章 2040年に向けて取り組むテーマ 6 つながりが心地よいふるさと	文中に「多文化共生社会を目指します」とあるが、外国人との共生は越前市ならではの姿や価値財産だと思う。そこで、外国人との共生を、6つのテーマ、もしくは12のチャレンジプロジェクトに盛り込んではどうか。	「多文化共生」については、6つのテーマ、さらに36の政策の全てに関連していると考えており、具体的には政策32多文化共生において盛り込んでいます。
22	50代	基本構想 第2章 2040年に向けて取り組むテーマ 6 つながりが心地よいふるさと	「市民が知りたい市政情報を市から積極的に発信する」とあるが、リアルタイムの情報発信をお願いしたい。例えば、体育館のランニングコース利用時間など。こうした情報をSNSで発信していただきたい。	市民が知りたい市政情報の発信について、公式SNSを活用して、随時発信する仕組みをつくるとともに、市ホームページにおいても、誰でも支障なく知りたい目的のページにたどり着けるようシステムの構築を図ります。

様式2 (計画用)

23		<p>基本構想 第2章 2040年に向けて取り組むテーマ 6 つながりが心地よいふるさと</p>	<p>「町内会や自治振興会の活動に積極的に参加し」とあるが、市が町内会活動に参加するという意味か。 また、同文中に「地域課題の解決を推進します。」とあるが、「解決する」としてはどうか。 「デジタル化による社会問題の解決を促進するため」とあるが、「解決するため」としてはどうか。 また、同文中に「積極的に取り組みます」とあるが、何に取り組むのか。</p>	<p>「地域への愛着を大切にし、町内会や自治振興会の活動に積極的に参加できるよう支援することによって、個性豊かで活力ある地域づくりと地域課題の解決に取り組みます。」に修正します。 また、「市民団体と連携し、デジタル技術を活用した地域社会の課題解決に積極的に取り組みます。」に修正します。</p>
24	40代	<p>基本計画 プロジェクト1 文化県都宣言プロジェクト</p>	<p>千年未来工芸祭について、県内で同時期に似たようなイベントが多く、また、大型イベントは来場者が多く、ゆっくり見たり、楽しんだりできない。誰を対象としてイベントなのか。 WEBページも近代的で素晴らしいが、英語の表記など分からない方には伝わりにくいなど感じる。 産業にかかわる方たちにももっとアピールを積極的にしていただいてはどうか。 また、市に在住の子供たちは現状では産地に近い地域以外では伝統に触れる機会がほとんどありません。もっと保育園などでも体験や施設見学など企画していただきたい。 県外の方の観光に尽力される計画は素晴らしいと感じるが、地元の子供たちや子育て世代にも文化や伝統に触れる機会を増やしていただきたい。</p>	<p>千年未来工芸祭は、主に一般消費者を対象にしており、作り手が一般消費者と直接対話することで、工芸や手仕事を身近に感じることでできるイベントとして開催しています。 本市の工芸や手仕事の魅力を国内外に発信したいと考えており、英語表記の方法も含め、様々な方へのわかりやすいPRに努めます。 これまでも、千年未来工芸祭やモノづくりフェスタの中で、伝統工芸のワークショップを開催しています。引き続き、イベントなどを通して、すべての世代の方々が歴史・伝統・文化に接する機会を増やしていきます。</p>

様式2 (計画用)

25	60代	<p>基本計画 プロジェクト1 文化県都宣言プロジェクト 政策6 伝統のモノづくり</p>	<p>打刃物は既に高級品として全国版になっているので、さらに身近な層をターゲットとして拡大することをしてはいかがでしょうか。 レクサス層ばかりでなく一般大衆層も狙わないと浸透しないのではないのでしょうか。</p>	<p>越前打刃物の700年の歴史、技術に裏打ちされた品質の高さを広くアピールし、国内販路拡大を目指していきます。</p>
26	40代	<p>基本計画 プロジェクト2 U I J ターン倍増プロジェクト</p>	<p>県外の大学に進学した学生や県外で就職した若者が戻る場所がちゃんと確保されているのか。青年団もほぼ活動がなく、壮年会も子育て中の親世代ばかりで、地域の中に若者のポジションはあるのか。 また、移住する方も県外に出る方も県内に残る方もみんながひとつの情報ネットワークを共有できるサービスはないか。高校卒業とともに同世代に配信できる情報ツールがないように感じる。作成し、若者にとって有益な講座の情報、婚活イベント、防犯・詐欺などの啓発、地域での活動案内など情報を発信していただきたい。特に若者世代に性教育や育児・子育てについての情報を伝え、出産や子育てへの関心につなげてはどうか。 SNSの発達したこの時代にふさわしい若者のつながりを作っていただきたい。</p>	<p>ウェルビーイングを検討する中で、若者の居場所や舞台の重要性を再認識したところです。今後、若者の地域での居場所や遊ぶ場所としての居場所づくりに取り組みます。 また、若者や県外へ進学した学生をターゲットに、SNSによる情報発信に取り組み、ふるさと越前市への愛着や誇りの醸成に努めます。</p>
27	60代	<p>基本計画 プロジェクト3 観光産業拡大プロジェクト</p>	<p>「産業観光」とは、その地域特有の産業に係るもの（工場、職人、製品など）を指すので、プロジェクト内容からプロジェクト名は、産業観光拡大プロジェクトとし</p>	<p>本プロジェクトでは、「産業観光」のみならず、歴史文化や食などの地域資源の活用や、受入環境の整備など、観光誘客全般を網羅していることから、この</p>

様式2 (計画用)

			てはどうか。	プロジェクト名としています。
28		基本計画 プロジェクト3 観光産業拡大プロジェクト	1行目に「1, 300年前に国府が置かれ」とあるが、プロジェクト1文化県都宣言プロジェクトでは「約1300年前の大化の改新の後」となっていて、政策3歴史文化の保存と活用では「約1300年前に存在した」とある。西暦に「,」をつけるかどうかというのと、時系列の統一をしてはどうか。	「約1300年前の大化の改新の後に北陸地方で最も早く国府が置かれ」に統一します。
29	50代	基本計画 プロジェクト3 観光産業拡大プロジェクト	3来訪者受入環境の整備に「定額タクシーなどの観光二次交通の充実」とあるが、定額タクシーの乗降可能場所として日野山や鬼ヶ岳を指定すると登山目的の来訪者が増えると思う。 また、レンタサイクルに電動アシスト付きを導入すると利用者の行動範囲が広がると思う。	定額タクシーの乗降可能場所での登山口の追加について、検討します。 また、レンタサイクルへの電動アシスト付き自転車の導入についても、検討します。
30	50代	基本計画 プロジェクト3 観光産業拡大プロジェクト	4ウォーカブルなまちづくりの推進について、武生中央公園でイベントがある時、武生駅からのシャトルバスだけではなく、徒歩での案内や、レンタルサイクル無料貸出し等を加えてみてはどうか。まちなかへの誘導を促せるのではないかと考える。 また、武生中央公園にもレンタルサイクルを設置し、まちなかに向いてもらえる移動手段を整備してはどうか。	ウォーカブルなまちづくりの推進については、歩きながら楽しめるコンテンツの充実などにより、まち歩きの魅力を上させることで、武生中央公園を含めたまちなかエリアへの誘導、回遊を促していきます。 シャトルバスの代替としてのレンタルサイクル無料化や、武生中央公園でのレンタルサイクルスポットの追加については、観光客のニーズを踏まえ検討します。

様式2 (計画用)

31	40代	基本計画 プロジェクト3 観光産業拡大プロジェクト	<p>千年未来工芸祭はかっこよくておしゃれでデザインも素晴らしい企画だと思うが、人が多く、車を駐車場に停められない。子供連れでゆっくり見て回ることができない。</p> <p>同日に各産地でもイベントや工房見学をもっと充実させてはどうか。</p>	<p>各産地の工房を訪問し、ものづくりの現場を体験できるイベントとして「RENEW」が開催されています。千年未来工芸祭は、出展者が一堂に会し、来場者が一度に様々な店舗を巡ることのできる集約型のイベントとして開催しています。</p> <p>それぞれのメリットを活かした多様なイベントの開催により、多くの方に本市の産業をアピールしていきます。</p>
32	40代	基本計画 プロジェクト4 有機農業拡大プロジェクト	<p>将来の食糧自給率の課題は深刻で、大規模化と効率化を進めるプロジェクトは欠かせないことと素晴らしい取り組みに期待している。</p> <p>現在農業に従事されている方には大規模化に不安を抱える方もいる。そうした方も含めてみんなで応援できる越前市の農業であってほしい。</p>	<p>農業経営の安定と後継者育成は、持続可能な農業の大切な基盤です。</p> <p>これまで、農業経営の大規模化とコスト削減を目的とした担い手への農地集積を推進してきましたが、条件不利な農地もあることから、これ以上の農地集積は難しい状況です。</p> <p>今後は、有機農業の取り組みなど、消費者の評価を得て付加価値が高く、収益性が高い農業を推進します。</p>
33		基本計画 プロジェクト4 有機農業拡大プロジェクト	<p>有機農業を追求していくと自然の摂理を利用した土地の地力や植物の生存本能での栽培が理想であり、各地の実践例がある。県内でも自然栽培の講習会も継続実施しているので、越前市も「自然栽培の研究、市民対象の講習会の開催」を計画の中でうたって欲しい。</p>	<p>プロジェクト前文の3段落目の末尾に「さらに、自然栽培についても研究し、講習会を開催していきます」を追記します。</p>

様式2 (計画用)

34		基本計画 プロジェクト4 有機農業拡大プロジェクト	味真野地域にて栽培している茶葉から抽出したお茶エキスを、令和時代の「万葉の香水(お茶の香り)」として商品化し、販売することを提案する。	3の文中において、「コウノトリをシンボルとして」の後に「水稲や園芸作物などの」を追記します。ご提案については、事業に取り組む中で検討します。
35		基本計画 プロジェクト4 有機農業拡大プロジェクト	3の文中に、「6次化商品を開発する」とあるが、市が実施するのか。それとも開発する人を支援するのか。	「6次化商品を開発」を「6次化商品の開発を支援します」に修正します。
36	40代	基本計画 プロジェクト5 越前たけふ駅周辺開発プロジェクト	企業の誘致などで栄えるようになれば将来の子供たちの受け皿となり、家族が近くにいてもらえるのではないかと期待するし、地元で観光のお客さんで賑わうのも素晴らしいことと思う。 新しい企業で賑わう地域が将来全国的に日本の先端地域として紹介されると誇らしく思う。その時にこの地域に〇〇特区のようなカッコいい名前があると良い。	越前たけふ駅周辺整備については、短期・中期的に先端研究施設やホテル、商業施設等の誘致のほか、エリアのハブとなる次世代交流拠点の整備を検討しています。 これらの施設等が立地することにより、人が集まり、賑わいが創出され、楽しい場になっていくと考えています。 このエリアは、越前たけふ駅を中心に武生IC、国道8号が1km圏内に集積する「交通結節点」であるため、その特徴を生かし、まちづくり・企業誘致を進めていきたいと考えています。
37		基本計画 プロジェクト5 越前たけふ駅周辺開発プロジェクト	1企業誘致の促進において、「企業へアプローチ」とあるが、「企業へのアプローチ」としてはどうか。 同文中に「実現します」とあるが、「これらを実現します」としてはどうか。	「トップセールスなど企業誘致活動を積極的に行い、これらを実現します」に修正します。

様式2 (計画用)

38	50代	基本計画 プロジェクト5 越前たけふ駅周辺 開発プロジェクト	4にぎわいの創出について、雨対策が必要だと考える。例えば、福井駅西口のハピテラスのような大きな屋根があると雨の日でも利用が見込まれ、天候に左右されずイベント開催がある程度計算できると思う。	にぎわいの創出については、新たに整備を検討している次世代交流拠点において、屋内で若者が楽しめ、交流できる居場所づくりを検討しています。
39	20代	基本計画 プロジェクト5 越前たけふ駅周辺 開発プロジェクト	来訪者の受け皿となるホテル、商業施設等を設定することは悪いことではないが、来訪者をそこでとどめてしまえば課題解決にはつながらないと思う。 来訪者をいかに中心拠点・地域拠点に運ばせるかが重要になってくると思うので、越前たけふ駅からの二次交通を最優先で整備し、来訪者が足を運びたくくなるような誘致をお願いしたい。	プロジェクト10地域交通最適化プロジェクトに記載のとおり、越前たけふ駅からの二次交通については、定額タクシーを運行するほか、予約に応じて運行するデマンド型交通の導入を検討しています。 なお、令和5年度以降、デマンド型交通の実証実験を行う予定です。
40	50代	基本計画 プロジェクト7 こどもまるごと 応援プロジェクト	現状と課題にあるように、障がい者の福祉政策に必要なことは、市民一人ひとりが障がいについての理解を深めることで、そのためには、幼少期から障がいのある子どもと障がいのない子どもが共に学ぶ仕組みを作ることが重要だと思う。基本構想テーマ4「未来へつづく子育て・教育」と、チャレンジプロジェクト7子どもまるごと応援プロジェクトにおいても、障がい者への理解を深めるための福祉教育について記載してはどうか。 越前市は、昨年「パートナーシップ宣誓制度」を開始し、性の多様性への社会的理解を促進する素晴らしい制度を作った。子どもの頃から性や障がい、そして異	保育園・認定こども園等においては、子ども達が園生活の様々な経験を通して、障害のあるなしにかかわらず、一人ひとりが大切な存在であることを自然に感じられるよう環境づくりに努めています。幼少期から共に育つ環境づくりは重要であり、引き続き取り組んでいきます。 また、小学校への切れ目のない円滑な接続を行うことにより、さらなる意識形成が図られるものと考えます。政策16子育て・子育ての応援の、取り組みの方針(1)(3)に記載のとおり取り組みます。 政策17学校での教育において、子どもたちが、確かな学力

様式2 (計画用)

			<p>なる文化の理解を深め、多様性を認め合う取組みを行うことで、共生社会は成り立つのではないかと思う。</p>	<p>や豊かな心、健やかな体などの生きる力をつけることを目指すとし、子どもたちそれぞれが、夢を持って将来を考える力をもてるよう応援することを目的としています。その課題として、社会には多様な価値観があることを知り、お互いに認め合えるような人間関係を育めるよう、教育環境を整備することが求められることを挙げ、取組みとして個別最適な学びと協働的な学びの充実を掲げています。福祉教育は、幼児期と義務教育期の円滑な接続を含め、その取組みの中に含めているところです。</p>
41	60代	<p>基本計画 プロジェクト7 こどもまるごと応援プロジェクト</p>	<p>前文2行目「安心して子育てをでき」とあるが、「安心して子育てができ」としてはどうか。</p>	<p>「安心して子育てができ」に修正します。</p>
42	60代	<p>基本計画 プロジェクト7 こどもまるごと応援プロジェクト</p>	<p>1 保育業務従事者の増員と育成の文中「低年齢児受け入れ強化」とあるが、「低年齢児の受け入れ強化」又は、「低年齢児受け入れの強化」としてはどうか。</p>	<p>「低年齢児の受け入れ強化」に修正します。</p>
43	40代	<p>基本計画 プロジェクト7 こどもまるごと応援プロジェクト</p>	<p>認定こども園では就学前の教育などが十分に行われていないと感じる。保育園によって差があると聞くので、公立でも私立でも同じ水準の教育をしていただきたい。 こども家庭センターについては、どこにも相談できない方の最後の頼み綱となるのではなく、気軽に子育てについての情報共有や育児相談などができるようにな</p>	<p>全ての園では、国が定める「保育所保育指針」及び「認定こども園教育・保育指導要領」（これは「幼稚園教育要領」と同じ内容です）に沿って日々の教育・保育を行っています。市では、市内のすべての保育者の質の向上のため「資質向上研修」を複数回開催し、今後も教育・保育の向上に努めていきます。こども家庭センターについて</p>

様式2 (計画用)

			<p>ると良い。また、お母さんやお父さんに定期的に不安や不満、悩み、成功体験などの状況を聞いて、その内容を匿名で紹介するなどすれば、情報を欲しいお母さん方にとっては心強いのではないかと。</p> <p>また、保育園などへのチェック機能について、保護者に定期的にアンケートを取るなどで実態調査をすることを提案したい。</p> <p>また、すべての園で外国人の児童との交流や外国文化の紹介があるとよいと思う。市内で触れ合う機会や一緒に遊ぶ場面もあるため、慣れる意味でも保育園から外国文化との交流を進めていただきたい。</p>	<p>のご意見については、今後在り方の研究や検討を進める上で貴重なご意見として承ります。</p> <p>外国籍児が多く入園している園では、身近に交流する環境があり、交流や体験が無理なくできます。外国人市民との交流や文化交流のイベントがあるときは、園にも積極的に紹介し、外国文化を知る機会になるよう努めるとともに、ぜひご家族や地域の方々にも積極的に交流いただくよう啓発していきます。</p>
44	50代	<p>基本計画 プロジェクト8 安全安心で強靱なまちづくりプロジェクト</p>	<p>4 洪水の防止と軽減について、一次避難場所が地区ごとに指定されているが、現時点で洪水により道路が浸水しそうな場所はないか。もしあるとしたら見直しはしないのか。</p>	<p>一次避難場所は各町内の区長が災害種別ごとに届出された施設で、災害時に住民が一時的に集合し、区長等による安否確認や、市が指定する学校などの広域避難場所に誘導する場所です。一時避難場所は、各町内で適宜見直しされ、市も報告を受けています。</p> <p>特に、水害時には市の広域避難場所や自宅の2階以上などの安全な場所に避難してください。</p>
45	70代	<p>基本計画 プロジェクト8 安全安心で強靱なまちづくりプロジェクト</p>	<p>4 洪水の防止と軽減について、「令和4年8月の・・・河川改修事業の早期事業化を要望します。」とあるが、吉野瀬川の改修もすぐに着手すべきことなので、そのことについて記載してほしい。</p>	<p>吉野瀬川の河川改修については、令和3年7月から県が家久大橋上流部の右岸側において護岸工事に着手しており、政策27治水機能の向上に記載しています。</p>

様式2 (計画用)

46		基本計画 プロジェクト9 まちなか「あそべる、くらする」プロジェクト	2 ウォーカブルなまちづくりの推進について、市中心市街地活性化プランでは、ウォーカブルなまちづくりの推進において、「民間活力の導入」を挙げているが、市総合計画では触れられていない。市総合計画は中心市街地活性化プランの上位計画となるが、どのように官民連携を進めていくのか。	前文の中で、「空き家、空き地の利活用を核に」の後に「まちづくり武生(株)をはじめ民間活力の導入により」を追記します。 また、3 まちなかのにぎわい創出の文中「市民団体などの多様なイベントを」の後を、「開催するとともに、民間活力の導入により、まちなかに滞在したくなるような良質な空間形成の促進を図ります」に修正します。
47		基本計画 プロジェクト9 まちなか「あそべる、くらする」プロジェクト	4 武生駅東エリアの活性化の文中に「東エリアにおける」とあるが、「東西エリアの」としてはどうか。 同文中に「居住環境の創出」とあるが、「東エリアの居住環境」としてはどうか。	中心市街地の活性化に取り組んでいますが、特に武生駅東エリアにおいて空き地・空き家が増加している現状に対応するものです。 また、「居住環境の創出」を「民間による武生駅東エリアでの居住空間の整備を誘導します」に修正します。
48		基本計画 プロジェクト10 地域交通最適化プロジェクト	2 中山間地域でのデマンド交通の促進について、通学バスだけでなく、デマンド化はできないながらも、従来の路線バスも希望する場所で停車してくれる現行制度の活用により、家の前で停車が可能なので、これを維持していただくことも大切と感じる。	現在フリー乗降を行っている部分については、引き続きの取り組みを事業者に求めていきます。
49	20代	基本計画 プロジェクト10 地域交通最適化プロジェクト	市役所周辺でのトランジットモール化はとても良いと思う。歩いて暮らせる地域ができると高齢者にとっても暮らしやすくなり、新交通システムができれば若者や市外の人々の興味も向いてくると思う。大学や研究機関との協力	地域交通のあり方については、これまでも県内の大学等と連携し、検討しているところですが、トランジットモール化についても、関係機関と協議しながら取り組みます。

様式2 (計画用)

			も視野に入れながら研究を進めてほしい。	
50	30代	基本計画 プロジェクト12 楽しい居場所づくりプロジェクト	中央公園の駐車場は、イベント時満車のことが多いので、もっと増えると良いと考える。	武生中央公園の駐車場については、令和4年度にコウノトリ広場の整備に合わせて、コウノトリ広場の南側に駐車場(57台分)を新たに整備しました。イベント時には、引き続き開催事業者により臨時駐車場の設置や交通誘導員の配置などを指導し、来園者が快適かつ安全に利用できるよう努めます。
51	40代	基本計画 プロジェクト12 楽しい居場所づくりプロジェクト	だるまちゃん広場は子供たちも楽しく遊べてとても喜んでいますが、駐車場がすぐにいっぱいになり、遊具にもたくさんの方がいて危険を感じることもある。近所の公園が整備されずに草が生えて遊具がボロボロになっている。地元の方に整備する予算などを市では用意されていないのか。大きな遊具ばかりでなく、いろいろな過ごし方を提案できるバリエーションある公園などの居場所づくりを期待している。併せて、整備された公園などを紹介した公園マップやサイトがあると良い。	武生中央公園の駐車場については、令和4年度にコウノトリ広場の整備に合わせて、コウノトリ広場南側に駐車場(57台分)を整備しました。多くの来園者がある場合には、引き続き公園管理事業者に対し、園内の安全パトロールの充実、臨時駐車場の設置、交通誘導員の配置などの対策を指導し、来園者が快適かつ安全にご利用頂けるよう努めます。市内公園の遊具については、毎年安全点検を実施し、安全確認を行います。雑草対策については、公園管理事業者と連携を強化し、現場対応を行います。公園マップやサイトについては、貴重なご意見として承ります。
52	30代	基本計画 プロジェクト12 楽しい居場所づくりプロジェクト	てんぐちゃん広場は、天気を気にせず子どもを遊ばせることができるので、重宝している。	これからも市民の皆さんに愛される施設となるよう努めます。

様式2 (計画用)

53	80代	基本計画 プロジェクト12 楽しい居場所づくりプロジェクト	村国山に「展望遊歩道」と「多目的電波塔」をつくり「宝の山を歩こう」を提案する。 標高220m付近を外周する「展望遊歩道」をつくり、展望広場も新たに作る。 複数企業の出資による、展望台を備えた「多目的電波塔」をつくる。	村国山(芦山公園)は頂上付近も含め、園内を周遊できる遊歩道を整備しています。 眺望を楽しみながら、より快適に安全に散策を楽しんで頂けるよう、3公園を活用した居場所づくりにおいて、芦山公園の遊歩道の再整備事業などを記載しています。 なお、「多目的電波塔」については、ご意見として承ります。
54	50代	基本計画 プロジェクト12 楽しい居場所づくりプロジェクト	3芦山公園の再生と遊び場の整備について、ランニングコースとして時々訪れるが、舗装路を走ったり、山道を走ったり、また、入り口が何カ所かあったり、色々と楽しめる駅近くの自然で、越前市の観光資源だと思う。また、木登りができるよう整備している様子があり、山全体が遊び場だと感じた。	3公園を活用した居場所づくりにおいて、芦山公園の遊歩道の再整備事業などを記載しています。 来園者に快適かつ安全に散策等を楽しんで頂き、新たな利用者にも魅力を感じて頂けるよう、計画的に整備を図ります。
55	50代	基本計画 政策2 観光誘客	現状と課題(5)に周遊観光の取組みとあるが、訪問客の視点でいえば、越前たけふ駅は丹南の玄関口でもあるので、越前市に限定せず、現状と課題の一番最初に持ってきてはどうか。	現状と課題に記載の5項目の順番については、重要度で並べているものではありません。取組み方針(5)で記載するとおり、広域視点で丹南地域での周遊にも積極的に取り組みます。
56	50代	基本計画 政策2 観光誘客	取組みの方針(5)広域視点での観光推進について、県外では「丹南」という地域はあまり知られておらず、越前＝嶺北のイメージだと思う。また、「越前」のつく市町がいくつかあるので、混同すると思う。 また、越前たけふ駅以外に、敦賀駅からの観光誘客は検討しないのか。嶺南地方を訪れた観光客に	広域視点での観光推進について、丹南地域においては、伝統的工芸品の「越前和紙」「越前打刃物」「越前箆箆」「越前漆器」「越前焼」や「越前海岸」「越前がに」「越前おろしそば」「越前国府」など、この地域を表す「越前」をキーワードとして活用することで、本市への認知や関心を高めていきます。

様式2 (計画用)

			<p>少し足を伸ばして丹南、越前に寄ってもらうことができれば、新たな需要が見込めると思う。</p>	<p>敦賀駅からの誘客については、③に記載のとおり、敦賀市をはじめとした新幹線沿線都市と連携した誘客を図ります。</p>
57	60代	<p>基本計画 政策2 観光誘客</p>	<p>2023年に国道417号が岐阜県と開通する。観光案内のサイン・地図等は、高速道路を主にしていると思うので、設けるような計画にしてほしい。 併せて、観光パンフレットも充実してほしい。</p>	<p>国道417号の開通により中京圏のアクセスが向上することから、来訪者に対し有効なサインを検討するとともに、観光パンフレットの充実を図ります。</p>
58	70代	<p>基本計画 政策4 生涯の芸術文化活動</p>	<p>高齢者等の難聴の方でも、文化センターの講座を受講できるよう拡声器を備えてほしい。</p>	<p>文化センターの室内仕様として、研修室303号は防音壁による防音対策ができています。マイク等を使用することができます。他の会議室は、一般壁のため防音対策ができておらず、他室利用に支障をきたすため、マイクや拡声器は使用できない運用となっています。音響設備の設置については、今後検討します。</p>
59	40代	<p>基本計画 政策4 生涯の芸術文化活動</p>	<p>越前市には、文化センター、図書館等芸術文化教養の中心となる大きな施設があるが、加えていまだに芸術館、図書館、あいぱーく今立エリア及び和紙の里エリアを、地域文化拠点として位置づけ、老朽化した施設の速やかな修繕と維持管理、文化事業の運営に取り組んでほしい。</p>	<p>施設の改修等については、市教育施設等長寿命化方針に基づき計画的に進め、施設の修繕や適正な維持管理、文化事業の開催などに努めています。</p>
60	70代	<p>基本計画 政策5 次世代産業の活性化</p>	<p>取組みの方針(4)③に「働く人の住まいの受け皿となる共同住宅の建設等を促進」とあるが、企業の近くに共同住宅を建設するのか。</p>	<p>企業の経済活動には人材確保が重要であることから、採用時にアピールポイントになる「職住近接」の共同住宅の建設を支援していきます。</p>

様式2 (計画用)

61	70代	基本計画 政策6 伝統のモノづくり	現状と課題(2)に「武生中央公園からタンス町通りへのまちなか回遊を誘導し、中心市街地のにぎわい創出を図ります。」とあるが、取組みの方針に記載すべきでは。	ご指摘のとおり、取組み方針(2)②の文末に移動します。また、現状と課題(2)7行目の「開発や販路拡大」の後に「のほか、タンス町通りの活性化による越前筆笥の認知度向上」を追記します。
62	70代	基本計画 政策7 いきいき働く仕事	他県から仁愛大学に入学する人と、卒業後市内に就職する人はどれくらいいるのか。その人数を増やす施策を考えては。	県外からの入学者は1割程度とお聞きしています。卒業後、市内での就職を促すため、商工団体と連携して、市内企業による就職研究会などを開催しています。
63	60代	基本計画 政策8 農業経営の安定化	現状と課題について、現在、土地の集積化により農業者の数が急激に減っていることに伴い、農家組合長を置かない集落が出てきている。集落内の農地、用水路等を守っていくために農家組合長は必要だと思っている。この現状をどうとらえているのか、今後の方針として記載してほしい。	農家組合長には、営農計画書の取りまとめなど、行政から農家への依頼事項を伝達し、取りまとめいただき、感謝申し上げます。農家と行政、JAとの橋渡しをしていただける大切な役割であると認識しております。JAと共に農家が安心して農業に従事できるよう努めてまいります。
64	50代	基本計画 政策8 農業経営の安定化	取組みの方針(6)自然豊かな里地里山の魅力発信による関係人口の拡大について、コウノトリの生育環境に最大限配慮しつつ、観光資源として活用してはどうか。例えば、人工巣塔の近くにコウノトリを観察できる施設を設置してはどうか。	政策11里地里山の保全と活用、取組みの方針(3)②の文中「自然豊かな環境について学習する機会」の後に「や、コウノトリ等の情報」を追記します。
65	50代	基本計画 政策9 次代への森づくり	現状と課題(1)に「木材の需要低迷」とある。昨今の原油価格高騰などの影響を受けて輸入材の価格が上昇し、価格面で国内産と	林野庁発表の「木材需給動向について」(令和4年3月)によると、令和3年の新設住宅着工戸数は85.6万戸で、令和2年

様式2 (計画用)

			<p>変わらなくなってきていると聞いたことがあるが、それでも木材は需要低迷しているのか。</p>	<p>の81.5万戸から増加したものの、コロナ禍以前（令和元年、90.5万戸）の水準を下回っています。</p> <p>また、福井県発表の令和3年度の県内木造新設住宅着工件数は3,748戸で、令和2年度の3,302戸から増加したものの、コロナ禍以前（令和元年度年度、3,929戸）を下回っており、引き続き木材需要は低迷しています。</p>
66	60代	基本計画 政策9 次代への森づくり	<p>現状と課題について、林業が衰退しているため、多くの森林所有者及び後継者が山に入らず境界がわからない状態になっている。これにより山が荒れるという現状も記載すべきではないか。</p> <p>対策として、町内会を対象に行政指導で所有者や森林組合など立ち合いで協会を決める方策を記載してはどうか。</p>	<p>現状と課題（1）末尾の「希薄化が進んでいます」を「希薄化が進み、森林所有者及び後継者が山に入らず、山林境界線が不明確な状況になっています。」に修正します。</p> <p>また、山林の境界確認については、行政が関与する中で、地元町内とともに対応を進めています。</p>
67	60代	基本計画 政策9 次代への森づくり	<p>取組みの方針（4）について、幼児教育・学校教育の立場から、生活と森林のかかわり・必要性・重要性などの学習の必要性について記載すべきでは。</p> <p>日野山、鬼ヶ嶽、権現山、三里山など登山に魅力的な山があるので、記載できると良いと思う。</p>	<p>取組み方針（3）②の「レクリエーション機能や」の後に「、森林学習、」を追記します。</p> <p>魅力的な山については、具体的な山の記載はありませんが、（3）保全と活用の視点での森林整備②において、登山やトレイルランについてその機能の活用について記載しています。</p>
68	40代	基本計画 政策9 次代への森づくり	<p>近くの山では、細い杉の倒れた山や折れた竹で見通しの悪い竹藪が目に入り、何とかできないものかと思っている。</p> <p>今回の計画のように市が積極的に森林環境の現状と課題に向き</p>	<p>この総合計画では、「産業」「防災」「保全と活用」の3つの視点で、長期的かつ計画的に森林整備を進めます。特に「保全と活用」では、具体的に森に親しむ場づくりに向け、八ツ杉森林</p>

様式2 (計画用)

			<p>合い、防災や整備・活用の取り組みが示されていることにうれしさと期待を感じている。</p> <p>森林資源が活用され、既存の施設や公園などが活性化していくことを期待している。</p> <p>また、林業に従事する方の支援と木材の販路や経営ノウハウのサポートなどを充実されると心強く思う。</p>	<p>学習センター、芦山公園の再整備に取り組みます。</p>
69	40代	<p>基本計画 政策9 次代への森づくり</p>	<p>地球温暖化対策としてのカーボンニュートラル実現には大きな期待をしている。</p> <p>越前市は山に囲まれた地域であり、森林が多く活用できる。近くの山も荒れたように細い杉が何本も倒れている。</p> <p>カーボンニュートラルの観点からも林業を活性化させて搬出した木材の活用や薪ストーブ、小型のバイオマス発電、ボイラー、薪の販売などで炭素を循環する取り組みを進めては。</p>	<p>取組み方針(3)①の冒頭に、「カーボンニュートラル・温暖化防止対策等の」を追記し、文末に「また、林地で発生した残材等を有効活用したバイオマス利用に取り組みます」を追記します。</p>
70	50代	<p>基本計画 政策11 里地里山の保全再生</p>	<p>取組みの方針(1)里地里山の保全再生について、村国山の芦山公園再生に係る取組みはいいことだと思う。芦山公園にある池の水が少し濁っていてもったいないと感じた。また、長らく使われていないベンチも見かけた。</p>	<p>プロジェクト12楽しい居場所づくりプロジェクトにおいて、「公園を活用した居場所づくり」として芦山公園の遊歩道の再整備に取り組みます。</p> <p>また、森づくりの観点からも、政策9「次代への森づくり」において、芦山公園の山林の再整備に取り組みます。</p>
71	50代	<p>基本計画 政策11 里地里山の保全再生</p>	<p>取組みの方針(2)希少野生生物の保全活動について、まちなかにいながら自然を感じられるのは越前市の魅力の一つだと思う。例えば、武生中央公園近くの川では、季節になると梅花藻や蛍が見</p>	<p>絶滅の恐れのある希少野生生物の保全活動については種の保存を優先した生息状況調査や生息地の保全活動を行い、活動実績を公開しています。</p> <p>一方で、ホテルやメダカが小</p>

様式2 (計画用)

			られるので、磨き上げて観光資源にしてもらいたい。	川に生息できる豊かな自然環境は、本市が誇る地域資源のひとつです。環境保全に配慮しつつ、政策2 観光誘客 取組みの方針(2)①に記載のとおり、観光コンテンツとしての磨き上げを図っていきます。
72		基本計画 政策1 1 里地里山の保全再生	取組みの方針(3)①の文中に「都市住民PRに訴求する」とあるが、どういうことか。	「都市住民に効果的に訴求するため」に修正します。
73		基本計画 政策1 2 地域での支え合い	政策1 2 地域での支え合いの取組みの方針(3)①1行目に「子ども、障がい者、高齢者等・・・」とあるが、基本構想のテーマ3に同内容が記載されていて、そちらには「等」はない。その他に包括しているなら「等」は不要ではないか。 また、「ヤングケアラー」の記載がない。	基本構想のテーマ3すこやかで幸せな暮らしの文中の記載内容に合わせ、「等」を削除し、「ヤングケアラー」を追記します。
74		基本計画 政策1 3 高齢者の元気応援	政策の目的に「生きがいを持つて」の表記があるが、関連する2040年に向け取り組むテーマの3すこやかで幸せのくらしや、人生健康で長寿プロジェクト、そして政策1 3の取組みの方針にも、健康や介護予防はあるが、「生きがい」の表記がない。 総合計画の理念であるウェルビーイングの表記として「生きがいを持って生きること」、「生きがいを持つことの大切さ」等の記載を求める。	2040年に向けて取り組むテーマの3すこやかで幸せのくらし、プロジェクト6 100年人生健康で長寿プロジェクトの前文、政策1 3高齢者の元気応援の取組みの方針(1)①において、「生きがい」を追記します。

様式2 (計画用)

75	70代	基本計画 政策15 健康づくり	政策の目的に「100年人生を通じて・・・」とあるが、取組みの方針(3)おとなの健康づくりの推進に働く世代のことしか記載がないので、高齢者のことも記載すべきでは。	高齢者の健康づくりについては、政策13高齢者の元気応援の取組み方針(1)④において記載のとおり、生活習慣病の発症・重症化予防等の健康づくり事業とフレイル予防等の一体的な取組みを進めていきます。
76	60代	基本計画 政策15 健康づくり	取組みの方針(4)①に「こころの健康に欠かせない睡眠と休暇」とあるが、「睡眠と休養」としてはどうか。 休養は2つの側面があり、1つ目は休むことで、心身の疲労を回復し元の活力ある状態に戻す。2つ目は養うことで、明日に向かって鋭気を養い健康能力を高める。このバランスが必要と考える。	ご指摘のとおり、「睡眠と」の後を「休養に視点を合わせた」に修正します。
77	70代	基本計画 政策16 子育て・子育ての応援	政策の目的の「全ての子ども健康やかな・・・」について、関連する計画の市障がい者計画と市多文化共生推進プランにその旨の記載がないが問題ないか。	市障がい者計画では、障がいのある人もない人もお互いに認め合い、支え合うまちづくりの実現を目指し、障がいのある人を生涯支えるまちづくりの主な施策として「発達障がいのある人への支援」「医療的ケア児への支援」を掲げています。 また、市多文化共生推進プランでは、日本人市民も外国人市民も同じ越前市民として、郷土に愛着を持ち、安心して生活できるための施策として、重点施策に「子育て教育環境の充実」を掲げています。
78	30代	基本計画 政策16 子育て・子育ての応援	以前はあった児童手当の「特例給付」を復活してはどうか。所得はいつ下がるかわからないので、子どもの将来のためにお願いしたい。	児童手当については、国の制度に従って給付しております。いただきましたご要望については、承ります。

様式2 (計画用)

79	30代	基本計画 政策16 子育て・子育ての応援	明石市のように、一定期間おむつを届けるサービスをしてはどうか。家庭の見守りとしても機能すると考える。	地域で安心して子育てできる環境の充実を取組み方針としており、必要な子育て支援策の充実を図っていきます。おむつの宅配サービスにつきましては、ご意見として承ります。
80	30代	基本計画 政策16 子育て・子育ての応援	越前市は車社会なので、移住者に対して、車の補助やチャイルドシートの補助があると良いと考える。	チャイルドシートについては、市交通安全協会での貸出制度があります。今後、移住者支援の相談窓口を一元化する中で、このような情報も集約し、提供できる体制づくりに努めます。
81	30代	基本計画 政策16 子育て・子育ての応援	市主催のママ会を開催してはどうか。以前住んでいた場所では、「〇ヵ月前後の赤ちゃんのママ会」があり、そこでママ友ができ、栄養士が離乳食教室を開いてくれることで勉強にもなった。併せて健診の案内もしてもらえると、行きやすいと感じる。	市では5か月児セミナーを開催しており、離乳食教室をはじめ育児相談や絵本の読み聞かせも行っています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、お母さん方の交流の場は縮小しておりましたが、今後、国の動向を見ながら交流を再開していきたいと考えています。また、子育て支援センターにおいて交流の場を設けています。様々な子育て情報を市ホームページ等で周知しています。
82	30代	基本計画 政策16 子育て・子育ての応援	保育士は、労働時間や責任に対して、給料が少ないので、上げることはできないか。	保育士の処遇改善については、国が令和3年度に保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業（収入を3%程度引き上げる）を実施し、本市でもこれに基づき令和4年2月から会計年度任用職員（非常勤職員）の給料などの引き上げを行いました。また、民間園の保育士の処遇改

様式2 (計画用)

				善についても、国の基準に従い、改善を図っています。
82	30代	基本計画 政策16 子育て・子育ての応援	保育士は、労働時間や責任に対して、給料が少ないので、上げることはできないか。	保育士の処遇改善については、国が令和3年度に保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業（収入を3%程度引き上げる）を実施し、本市でもこれに基づき令和4年2月から会計年度任用職員（非常勤職員）の給料などの引き上げを行いました。 また、民間園の保育士の処遇改善についても、国の基準に従い、改善を図っています。
83	30代	基本計画 政策16 子育て・子育ての応援 政策19 生涯の学び	学びを促せる補助制度を作ってはどうか。例えば、未就学児や65歳以上の習い事について補助金をだすなど。	未就園児を対象に地域子育て支援センターで楽しく遊ぶ場を設け、親子での学びを支援しています。 また、高齢者の学びの場として「(仮)えちぜん市民大学」を開校し、学びを支援していきます。
84	30代	基本計画 政策17 学校での教育	学校は全てクーラーをつけてはどうか。また、授業中は飲み物に限っては、飲むことができるとしてはどうか。	現在、普通教室、音楽室は、全学校において空調設備を整備しています。その他の教室も、順次設置する予定です。 飲み物は、必要な時に飲んでいいというルールになっています。
85	30代	基本計画 政策17 学校での教育	制服についての補助制度を作ってはどうか。子どもの伸長はすぐに伸びサイズが合わなくなるので、費用がかかる。 また、私服で通える学校が増えると良いと思う。	越前市においては、全小中学校において制服の着用をお願いしています。様々なご意見がありますので、今後とも研究してまいります。

様式2 (計画用)

86	30代	基本計画 政策17 学校での教育	学校での制服について、女子でも気兼ねなくズボンを選択できたり、防寒着を着たりできるようにしてはどうか。	市内の全小中学校において、制服はスカートかズボンの選択制になっています。また、防寒着の着用時期については、自由であり、校内での防寒対策として制服や体操服の下の着用は自由となっています。
87	30代	基本計画 政策17 学校での教育	PTAなどのボランティアに頼った活動は、負担軽減のため、外注してはどうか。	政策18 地域での教育の政策目的に記載のとおり、小中学生が、地域の中で心身ともに健全にかつ安全に成長するため、地域・家庭・学校・行政が連携し、子どもが安心できる居場所づくりを進めます。併せて、地域全体での見守り活動や教育力の向上を推進しています。また、学校でのPTA活動については、各学校の実情に応じて負担にならない範囲で行っております。様々なご意見がありますので、今後とも研究してまいります。
88	30代	基本計画 政策18 地域での教育	海外には「サマーキャンプ」というものがある。子どもの学びの機会としてとても良い場なので、ぜひ越前市でも開催していただきたい。	政策18 地域での教育の取組の方針において、放課後の子どもの居場所づくりを推進していくことを掲げており、放課後こども教室や放課後児童クラブなど、子どもの居場所づくりを支援していくことを方針としました。また、学校外での子どもの学びの機会として、各地区公民館において通年で文化やスポーツなどに親しむ放課後こども教室を実施し、その中で屋外活動も実施しています。

様式2 (計画用)

89	50代	基本計画 政策20 生涯の スポーツ	取組みの方針(2) スポーツ関連団体との連携によるスポーツ環境の維持について、20年先を見据えて「フェンシングの街」越前市のブランドを確立すべく、フェンシング普及に取り組まないのか。	取組み方針(2) ②で、スポーツ関連団体との連携し、競技人口の裾野を拡大し、競技のレベル向上や好成績を残すことができる選手の育成を図っており、フェンシングの普及についても、この中で取り組んでいきます。
90		基本計画 政策20 生涯の スポーツ	現状と課題(2)では運動部活動の競技人口の減少に触れているが、話し合いが進められている「市子どもの新たな活動環境に係る検討会」に出席してみて、中学校の部活動も学校と地域での教育にまたがって考えなければ成り立たないと考えている。総合計画では、これのあるべき姿(求める形)を示していただきたい。	取組みの方針(1) 多様な主体によるスポーツ機会の創出で、100年人生において、スポーツを通じて健康の保持・増進やいきいきとした生活を実現できるように、多様化するニーズに対応した機会を作るとしています。また、(2) ①スポーツ関連団体との連携によるスポーツ環境の維持に、既存の仕組みを柔軟に見直し、最適な運営方法やルールを構築するとしています。この方針を受け、中学校部活動の地域移行についても、しっかり取り組んでいきます。
91	70代	基本計画 政策22 道路環境の整備	取組みの方針(4) 雪に強い道づくりは、市と民間の両方について述べているのか分かりにくい。	取組み方針(4) ②の文頭「除雪機械の老朽化」の前に「市道の除雪を行う民間企業の」を追記します。
92	60代	基本計画 政策22 道路環境の整備	下平吹町を通り中平吹町に行く道路が局部的に狭くなっている。その他市内にそういった道路があるなら、解消を進めるような記載をしていただきたい。	現状と課題(3)に「市民生活の向上を図るため、車両交通が困難な道路の解消を行う必要があります」を追記します。また、取組みの方針(3) ③に「市街地等の環境改善に向け、地元の見解等を踏まえ、狭い道路の解消に努めます。」を追記します。

様式2 (計画用)

93	50代	基本計画 政策23 地域交通ネットワーク	取組みの方針(2)北陸新幹線の利便性向上について、越前たけふ駅～武生駅間の移動手段、二次交通が新幹線のダイヤに接続するのに、連絡バスができるのか。できるとしたら、1日の運行は何本ぐらいを予定しているのか。また、新幹線はサンダーバードと比較すると、時間も費用も余計にかかってしまいそうで、不便さを感じるかもしれない。	越前たけふ駅からの二次交通については、定額タクシーを運行するほか、予約に応じて運行するデマンド型交通の導入を検討しています。 なお、令和5年度以降デマンド型交通の実証実験を行う予定であり、その結果、運行本数等を決定していく予定です。 また、関西方面の特急利用には、敦賀駅での乗り換えが必要となりますが、新幹線との乗継割引料金が設定される予定で、費用面では現行よりも安くなると試算されています。
94	70代	基本計画 政策24 住宅支援の充実	取組みの方針(2)空き家の利活用推進について、「居住誘導を図ります。」とあるが、可能なのか。住めなくなったので空き家となっているのに、修理して住んでもらうのか。	利活用可能な空き家については、既存ストックの活用の観点から、リフォームを行うことで、居住への誘導が可能と考えています。
95	70代	基本計画 政策24 住宅支援の充実	取組みの方針(3)住宅に困窮している人への住まいの供給は、タイトルと内容が一致していないのでは。	取組み方針(3)の文頭「市営住宅」の前に「住宅に困窮している人への住まいの受け皿である」を追記します。
96		基本計画 政策24 住宅支援の充実	「空家」という記載があるが、先に定められている市中心市街地活性化プランでは「空き家」、他方「市空家等対策計画」や組織名としての「市空家等対策協議会」と多様であるが、使い分けの必要はないか。	「空家」「空き家」の表記については、「空き家」に統一します。なお、計画名と協議会名については、これまでどおり「空家」と表記します。
97		基本計画 政策25 暮らしを支える上水道	現状と課題○上水道(2)の文中に「耐用年数を迎える」とあるが、「過ぎる」「超える」ではないか。	現状と課題○上水道(2)の「迎えるため」を「過ぎるため」に修正します。

様式2 (計画用)

98	60代	基本計画 政策25 暮らしを支える上水道	取組みの方針○上水道(1)②に「簡易水道施設の統合を計画的に進めます。」とあるが、集落や個人の水道のことか。簡易水道の許可を取っている箇所は何か所あるのか。1、2カ所なら記載する必要がないのでは。	簡易水道施設の統合については、現在、白山地区で進めており、事業終了後に中平吹町で行う計画です。 統合事業は、住民への水道水の安定供給のため重要な事業であることから、計画に記載しました。
99	70代	基本計画 政策25 暮らしを支える上水道	取組みの方針の○上水道(1)②に「簡易水道施設の統合を計画的に進めます。」とあるが、どこの統合か。	取組み方針(1)②の文頭「簡易水道施設」の前に「白山地区と中平吹町の」を追記します。
100	50代	基本計画 政策26 地域の防災	現状と課題(2)に「災害に備えて、平常時から防災意識啓発」とあるが、災害はいつ起きるかわからないので、必要のつど一次避難場所の見直しはできているのか。例えば、武生西地区は、武生西幼稚園前となっているが、現在工事中のため、多くの住民が一次避難できるのか不安である。	一次避難場所は、各町内の区長が災害種別ごとに届け出た、主に集会場や公園などです。当避難場所は災害発生時に住民が一時的に集合し、区長等により安否確認や市の指定する学校など広域避難場所への誘導がされることです。 一次避難場所は各町内で適宜見直しが行われ、市も報告を受けています。
101		基本計画 政策26 地域の防災	現状と課題(3)1行目に「障がいのある方」とあるが、政策14(79頁)では「障がいのある人」とある。統一してはどうか。	「障がいのある人」に修正します。
102	70代	基本計画 政策26 地域の防災	住宅の耐震補強対策として補助金を出す制度があると思うが、なぜ記載していないのか。もっと拡大してもよいと思う。	政策26地域の防災の政策の目的の「災害から市民の生命と財産を守り、誰もが安全で安心して生活ができるよう」に含めており、住宅の耐震化率向上に向け、引き続き啓発と支援を行います。

様式2 (計画用)

103		<p>基本計画 政策28 消防・救急・交通安全</p>	<p>「消防団」については大切な位置づけということが読み取れるが、「自警消防隊」や「自衛消防隊」の位置づけについてはどのように考えているのか。</p>	<p>「自警消防隊」は各町内で構成する自主防災組織の中で主に消火部隊として活動し、「自衛消防隊」は事業所における利用者の安全を確保する自衛組織で、それぞれ災害時には自助・共助の一部を担う重要な組織となります。</p>
104	60代	<p>基本計画 政策28 消防・救急・交通安全</p>	<p>自警隊の記載がないので、必要と思われるなら、記載すべきでは。隊員の励みにもなる。政策29に防犯隊の記載があるが、防犯隊と同程度の記載をしていただきたい。</p>	<p>自警消防隊は、地域における共助の中核を担う自主防災組織の中で消火を主に活動する組織であり、消防機関との連携が重要です。 施策28 消防・救急・交通安全の取組みの方針(1)に「④自警消防隊の消火技術向上に努め、地域防災力の強化を図ります。」を追記します。</p>
105	60代	<p>基本計画 政策28 消防・救急・交通安全</p>	<p>現状と課題(2)に「住宅用火災警報器の設置等を啓発する必要があります」とあるが、現在まで市民に対して推進していたのか。また、以前普及推進して設置した火災報知器はどうなっているのか。現状の普及率を教えてください。</p>	<p>平成23年に住宅用火災警報器の設置が義務化されて以降、これまで市広報紙や防火座談等の機会を通じ、市民に普及啓発を図っています。 現在は、設置が義務化されてから10年以上が経過し、電池寿命による不作動等が懸念されることから、これまでの普及啓発に加え、買い替えや作動点検等の維持管理について周知を行っています。 なお、令和4年6月時点の設置率は、越前市内で97.7%となっており、県平均の96.1%、全国平均の84.0%をそれぞれ上回っています。</p>

様式2 (計画用)

106	50代	基本計画 政策28 消防・救急・交通安全	取組みの方針(4)交通安全意識の啓発について、横断歩道を渡る歩行者に対して、ドライバーの意識が低いように感じるので、ぜひ啓発をお願いしたい。	横断歩道は歩行者優先であり、ドライバーが横断を妨害した場合には、道路交通法違反となります。警察や交通安全関係団体と連携して、啓発に努めます。
107	30代	基本計画 政策31 人権尊重と男女共同参画について	県内で初めての「パートナーシップ制度」導入を大変うれしく思っている。また、入れて終わりではなく、今後も普及・啓発に努め、人権課題に取り組むという姿勢を示していることに安心している。 越前市は、LGBTQ支援は人権課題であり自治体の役割であるという認識のもと、北陸のなかでは最も早くから取組みを進めてきた自治体だと思う。そのことに誇りをもって、誰もが安心して暮らせる社会をつくるために、これからもこの人権課題に力を入れて取り組んでほしい。	LGBTQなど多様な性をはじめ、市民一人ひとりの人権に対する理解が更に広がるよう、今後も継続した取組みを進めていきます。
108	40代	基本計画 政策32 多文化共生	越前市に居住している外国人市民の多くが、特定の市内企業で働く労働者やその家族と思われる。多文化共生の推進にあたっては、外国籍市民が働く企業との官民での連携や協力という視点がもっとあっても良いのではないかな。	取組みの方針(2)①の文中「関係機関と連携し」を「外国人を雇用している企業や関係機関と連携協力しながら」に修正します。
109	50代	基本計画 政策32 多文化共生	取組みの方針(2)外国人市民への生活支援について、双方向からの支援が重要だと思う。日本語が話せない外国人市民への支援として、外国語を話せる日本人市民の数を増やしたり、外国語に触れる機会を作るなど環境整備を検討してはどうか。	これまでも、外国人を雇用している企業や地元の仁愛大学、市国際交流協会など関係機関との連携のもと、ポルトガル語の公開講座や、外国の文化に触れる出前講座を通じて、日本人市民が外国語や外国の文化に触れる機会を提供しています。今

様式2 (計画用)

				後も、継続して取り組んでいきます。
110	50代	基本計画 政策34 DXによる市政新デザイン	越前市の未来社会構築においてデジタルの活用は極めて重要な観点かと思うが、本総合計画におけるデジタルの位置づけを明確にはいかがか。デジタルをどのように活用し、どのような街づくりを行っていくかの方針を、基本計画を推進する際の軸の1つとして示すことは市政に対する市民の理解を助ける一助になると思う。	ご指摘のとおりです。政策34の「市政新デザイン」を「DXによる市政新デザイン」に修正し、DXによる「どこでも窓口」の実現するために、国のマイナンバーカードを活用し、市役所に行かなくても、いつでも、どこでも、早く、簡単に申請できるオンライン申請の取り組みをはじめ、インターネット上の仮想空間「メタバース」を情報発信や福祉の相談窓口として活用するなど、自治体DXと地域社会のデジタル化に積極的に取り組みます。